光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

# dd パクリタキセル療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

| | | | |
|---|---|---|---|
| がん種（適応） | 乳癌 | | |
| 開始年月日 | 年　　月　　日 | | |
| 1 コース期間 | 14　日間 | | |
| 体格 | 身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡ | | |
| 嘔気・嘔吐リスク | 軽度 | 制吐剤 | グラニセトロンゼリー<br>（+デキサート注 16.5mg） |
| 特記事項 | 【ペグフィルグラスチムの投与について】<br>ペグフィルグラスチムは患者負担が増える事を説明する<br>（疼痛時セレコキシブ 100mg などを使用） | | |

| 投与薬剤 | 投与量 | 投与時間 | 投与スケジュール |
|---|---|---|---|
| パクリタキセル | mg（175mg/㎡） | 3 時間 | Day1 |
| ペグフィルグラスチム注 | 3.6mg | 皮下 | Day3 に皮下注<br>（治療後 24～72 時間の間に） |

【処方が必要な内服薬】

レスタミン錠（10）5 錠　パクリタキセルの 30 分前
グラニセトロンゼリー2 ㎎　1 包　パクリタキセルの 30 分前

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

**指示医師サイン**＿＿＿＿＿＿＿＿